

家庭で子どもに手伝いをさせよう運動 「家庭でワクワクお手伝い」の概要

手伝いや家庭の仕事は子どもを成長させます！

長岡市の子どもの実情

○家庭で必ずする手伝いや決められた仕事がある

小学生 47.8%

中学生 33.3%

(注1)

※平成15年度調査との比較では、小学生、中学生ともに、約7ポイント減少 (注2)

長岡市の保護者の意識

○子どもの家事分担を決め、家の仕事をやらせている (注1)
「かなり心がけている」

12.1%

「あまり心がけていない・まったく心がけていない」

43.4%

夢と自信を持ち、未来を力強く切り拓き、
たくましく生きる長岡市の子どもたちの成長のために

○家庭で決められた手伝いや仕事がある子どもは、基本的な生活習慣が定着している割合が高い。(注1)

○家庭で手伝いをしている子ども、家庭での生活体験が豊かな子どもは、正義感・倫理観が身に付いている。

(注3)

○家の手伝いや地域に役立つことを「続けてしている」子どもの学力は高い傾向にある。(注4)

～手伝いの9つの効果～

- ①気がつく子になる
- ②サッと動ける子になる
- ③生活技術の基本が頭でなく、身体で覚えらる
- ④生きることに前向きな子になる
- ⑤ものを大切にする子になる
- ⑥人ときちんと向かい合える子になる
- ⑦コミュニケーションができる子になる
- ⑧大人へと成長させる
- ⑨家族の一員としての自覚が育つ

～「子どもを伸ばすお手伝い」辰巳 渚著より～

子どもの健やかな成長には

家庭・地域・学校

の連携・協力した取組が大切です！

～家庭では～

○家庭の仕事や役割分担について親子で話をする機会を持ちましょう。

○今、子どもが実行している家庭内のお手伝いや仕事について見つめ直してみましょう。

○子どもの年齢や家庭の実情に応じて、子どもに手伝いや仕事を意図的に与えるように工夫しましょう。

○子どもが手伝いや仕事をやり遂げた体験を通して、責任感や達成感、自己有用感を育てましょう。

～地域やPTA関係団体等では～

○親子が共に活動できるような地域清掃や親子料理教室などの活動を実施し、地域へ参加を呼びかけましょう。

○会合や研修等の機会を利用して、家庭教育に関する情報交換や啓発活動、保護者への呼びかけを行いましょう。

～学校では～

○道徳、学活等の時間、全校・学年集会等の機会を利用し、家庭で役割を果たすことの大切さを具体的に指導しましょう。

○長期休業中のしおり等に家庭での仕事や役割を具体的に記入する欄を設けたり、課題を工夫したりし、児童生徒が具体的な目標、内容を設定し、継続的な取組ができるよう支援しましょう。

○懇談会や家庭訪問等の機会を利用し、保護者と子どもの実情について話し合い、積極的に情報交換等しましょう。

子どもを取り巻く環境の変化

○家庭における労働や手伝いの減少 ○テレビやゲームなどの遊び時間の増大

○手伝いより学習等を優先させる親の意識の変化、通塾や習い事による多忙な生活

(注1) 平成18年度「長岡市の児童生徒・保護者・教員意識調査」(長岡市教育委員会)

(注2) 「長岡っ子の家庭生活」(平成15年度長岡市生徒指導研究会調査)

(注3) 平成10年度「子どもの体験活動率に関するアンケート調査結果」(文科省)

(注4) 平成17年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査報告書」(東京都教委)

☆☆家庭におけるお手伝いや仕事は、それぞれの家庭の実情と子どもの年齢に応じて、さまざまな

工夫ができ、各家庭で無理せず、継続してできる、子どもの成長のための優れた体験です。☆☆